

木象嵌細工は古くからの技法で高度な技術が必要なため日本では伝統的な美術工芸の分野でつちかわれてきました。

相和工房では日本国内はもとより海外の銘木を使用し着色はせず素材本来の「色」「木目」を利用してひとつひとつ製作しております。

その自然の持つ独特の優しさを感じて頂けると幸いです。



相和工房 主宰 おおや としあき 大箭利明